

お得！ ゼロカーボンの仕組みづくり ～私も企業も自治体も…～

提案分野：外出先での脱炭素

グループ：G



背景や現状と課題



仙台市ゼロカーボン宣言

2050年までに温室効果削減アクションプログラム
に向けて現在、計画の中間見直し中。

ゼロカーボンに対して市民の関心が薄く、「自分がやらなくても誰かがやってくれるだろう」「面倒くさい」等という背景もあり今できること、やるべきことは何かを改めて考え取り組む必要がある。

具体的な行動の内容

ゼロ・カーボンに
つながる行動をすると
ポイントがもらえる

（入浴料）の料金をあげる

シャワーに切り替える（入浴施設を

商業・施設で買い物をする

学校・公園にウォーターサーバーを設ける

・プラスチックごみ箱の設置・基準の作成



それぞれの役割

市民（自分）の役割

- 情報収集
- 変化への対応
- サービスの積極的利用
- ルールの遵守

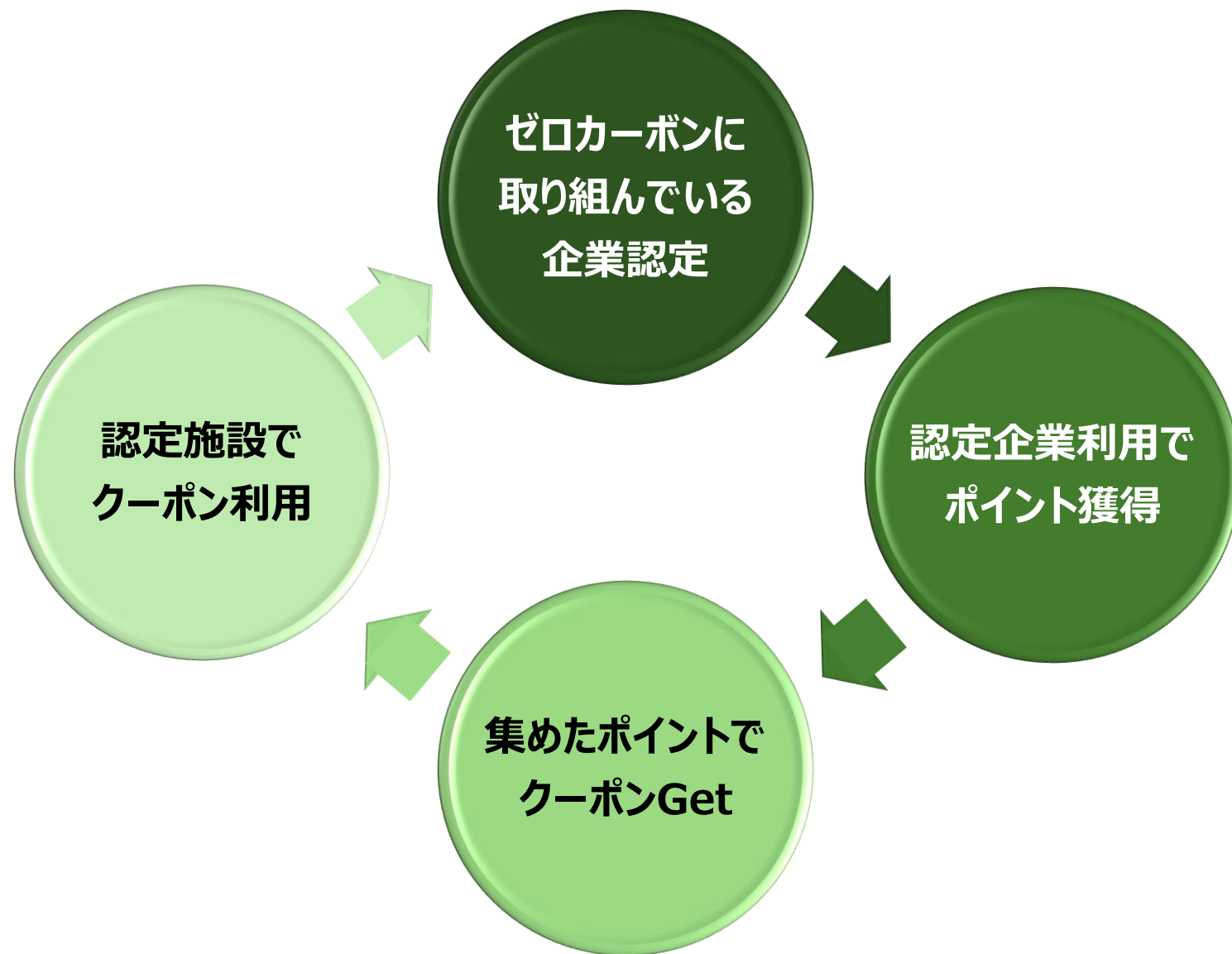
その他（自治体・企業など）の役割

- 広告（新聞や動画配信サービス）
- 企業への補助
- アプリの開発(+運営・アップデート)
- 設備のメンテナンス
- 自治体へのウォーターサーバーの貸し出し

地球・未来との関わり

- 自治体・企業が一体となったサービスの運営形態
- 持続可能な社会の実現・運営

アクションを広めていくための手法



仙台ゼロカーボン促進キャンペーン
ゼロカーボンに取り組んでいる施設を
みんなが応援！

ふるさと納税も活用し、財源確保！
ふるさと納税の返礼品として、
クーポン券を進呈

集まった寄付は、ゼロカーボン取り組
み企業への助成や未来への取り組み
(植樹など) に活用

期待する効果



- ゼロカーボンの取り組みが進む
- 地域のコミュニケーションが築ける
- 家計にやさしい
(クーポンや補助が得られれば)
- 健康的で豊かなくらし